



緊急地震速報の過去・現在・未来

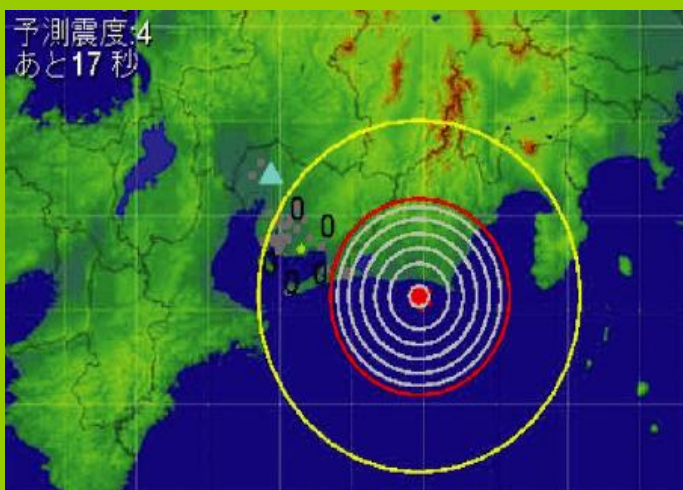
第33回KEKコロキウム



気象庁から提供が予定されている緊急地震速報について、振動情報取得方法、データ収集の実際、震源探索、最大震度予測方法、データ広報とともに利用にあたっての注意点などをわかりやすく解説します。

講演者: 大竹 和生 (気象庁気象研究所 地震火山研究部第四研究室主任研究官)

日時: 平成19年3月30日(金)13:30~15:00 場所: 3号館セミナーホール



地震の心得10カ条

- 1 まずわが身の安全をはかれ**
テーブルや机などの下にもぐり身の安全を確保しよう。
- 2 すばやく火の始末**
落ちついて火の始末を行う。
- 3 戸を開けて出口を確保**
とくに中高層住宅では避難のための出口を確保しよう。
- 4 火がでたらすぐ消火**
もし火災が発生しても天井に燃え移る前なら初期消火できる。消火器の設置をしよう。
- 5 あわてて外に飛び出さない**
あわてず落ち着いて行動をしよう。外へ逃げるときは瓦やガラスなど落下物に気を付けよう。
- 6 狭い路地やブロック塀などの倒壊のおそれのあるものに近寄らない。**
近くの公園や学校などの広いところに避難しよう。
- 7 山崩れ、がけ崩れ、津波に注意**
山崩れや海岸付近で地震を感じたら安全な場所に避難しよう。
- 8 避難は徒歩で、荷物は最小限に**
自主防災組織などと集団で避難しよう。
- 9 協力しあって応急救護**
多数の死傷者が出れば医療機関などでの対応に限界があり、みんなで助け合って応急救護をしよう。また応急手当の仕方を学んでおこう。
- 10 正しい情報を聞く**
落ちついて正しい情報入手しよう。デマに惑わされないように。

PROGRESS OF URGENT EARTHQUAKE FLASH

THE 33th KEKCOLLOQUIUM



図5-12 関東地震による被害状況(東京都台東区浅草)
【毎日新聞社 提供】



図7-15 兵庫県南部地震により倒壊した阪神高速神戸区
【毎日新聞社 提供】

About urgent earthquake flash in Meteorological office method of data taking, analysis of epicenter and expected intensity, public information and important reminder are discussed.

Speaker : Kazuo Ohtake (Senior Researcher The 4th Laboratory, Department of Seismology and Volcanology, Meteorological Research Institute)

Date : 30 March 2007(Friday) Time : 1:30pm-3:00pm

Location : Seminar Hall in Building No.3



0	1	2	3	4
				
5弱	5強	6弱	6強	7
				
5 Lower	5 Upper	6 Lower	6 Upper	